

職員による自己評価

A環境面

訓練室内でも区分けを行っており、活動に必要なスペースは確保できている。

B児童への支援内容

個別療育を取り入れて実施し、定期的に評価を実施している。

細かく記録を残し、継続した支援を実施できている。

C関係機関との連携

支援学校などは特に情報共有を行っており、児童の様子や支援について共有を行なっている。

ケース会議や地域連絡会などにも参加し、他サービスなどとも情報共有している。

D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳をアプリにしたことで、日々の親御さんへの報告ができるようになった。

面談の際にも詳細お伝えし、ご家庭での変化も確認している。

E非常対応

半年に一回実施し、その様子は親御さんにもお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

- ・誰がどんな専門性があるかわからない
- ・もう少し広いほうが良いのではと思う。

B児童への支援内容

・室内だけでなく、屋外の活動もあってありがたい。

C事業所からの情報発信

・毎日 SNS を発信しているが、ワンパターン化しているので、月一詳細など、お便り形式などで情報発信してほしい。

- ・参観日の情報発信が不足している。

・SNS での発信は1日の様子を確認できるので◎。

・送迎時にその日の様子を話してくださるので安心できる。

D非常対応

避難訓練を毎月実施してもらっているのは安心できる。

事業所内での分析

【共通点】

- ・屋外での活動や行事を評価していただけている。
- ・送迎時の報告などで安心できる環境を提供できている。
- ・SNS での発信も確認していただけて、タイムリーに取り組みを把握してもらえている。

【相違点】

- ・活動スペースが狭いと思われる。
- ・SNS での発信の評価が分かれている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 豊富な外出行事。
- ・ お金の使い方や公共の乗り物の練習など、社会性を養う取組を実施している。
- ・ 毎月の評価して細かい報告を行なっている。
- ・ 月一回の報告書
- ・ 情報発信（報告書や SNS）

事業所の改善点

- ・ 職員の専門性がわからない
- ・ 教室がもう少し広いほうが良い
- ・ SNS がワンパターン化している

事業所の改善への取り組み

SNS での内容を精査し、より日々の内容がわかりやすいように発信していく。
通信など、月の報告を検討。
職員一覧に資格などを記載して配布する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

同じ内容でも感じ方は人それぞれであることがわかりやすかった。
マイナスに感じている方でも評価していただけるように改善していく機会になった。

事業所名 アレッタ児童デイサービス阪東橋
担当者 黒川 真帆